



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第 2535 回例会

2018. 6. 5 (火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町 4 番 9 号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

2017-18

RI 会長 イノH.S. ラグビー ガバナー 松村友吉

会長 長友範充 幹事 土屋雄三

会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 小野 信 S.L. 原田精治

斉唱「君が代」「それでこそロータリー」

会長挨拶

会長 長友範充



本日は、石井会員の会員卓話となっております。会員卓話としても最後、例会らしい例会としてもほぼ最後となります。後ほどよろしくお祈いします。

前回の例会は内規・細則の一部改定検討ということで土屋委員長にお骨折りいただきました。本日の理事会で承認頂ければ、次回例会にて改定ということになります。

今回の改定の趣旨は、会費減免制度を新設し、入会しやすくするという、会費が入会のネックとなっているなら、その部分を少し何とかしようということです。具体的な減免金額については、これからの課題ですが、ご家族・同じ会社・また若い人など明らかに入会しやすくなると思われまますので、この制度が適用になる方、また後継者の皆様などぜひ再度のご勧誘をお願いしたいと思います。

また、次週 12 日はトンプリ RC 訪問ということで、特別休会とさせていただきます。

今回は通常の訪問ではなく、姉妹関係を解消し、友好関係に一区切り付けるという目的があります。姉妹関係をわざわざ解消しなくてもという意見もありますが、以前とは違って当クラブも人数も少なくなり、実際姉妹クラブとはいってもほとんど交流がないことも事実です。将来のために負担になりそうな事業、余分なものは切り捨て、整理していった方がよいと思います。

今回、会員とご家族を含めて 13 名、総勢 15 名という人数の訪問となりました。最後の公式の訪問としてふさわしいと思います。参加される皆様の御協力に感謝致します。

今回は 19 日の委員会事業報告、そしてその後は新旧役員交代会、この 2 回で今年度終了となります。

いろいろなことがありましたが、おかげさまで今年度計画していた事業はほぼ完遂することが出来そうです。ありがとうございました。

本当にあとわずかですので、最後までよろしくお祈い致します。

出席報告

委員長 小林貞博

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	15/22 名	68.18%	19/22 名	86.36%
今回	20/22 名	90.91%	会員総数	24 名

- ・今回の欠席者 : 雨宮、浜村
- ・前々回の MU 者: 石井 (5/31 三島西 RC)
: 土屋雄三 (5/31 せせらぎ三島 RC)
: 木内 (米山運営委員会)
: 土田 (5/15 北海道 E クラブ)

スマイル報告

親睦友好委員 土田 哲

- ・土屋雄三、土田 哲
石井さん、卓話よろしくお祈いいたします。
- ・飯田鍵吾
小野先生、先日は大変お世話になりました。ありがとうございました。
- ・紀平幸一
今般、静岡県医師会会長に就任いたしました。
- ・小野 憲
紀平先生、静岡県医師会会長就任おめでとうございます。
- ・山口和祐
紀平先生、おめでとうございます。
(本日のスマイル合計: ¥20,000-)

- ・6月12日：特別休会
- ・6月19日：委員会事業報告
- ・6月26日：新旧役員交代会（招福の宿あびすや）

藤田弓子名誉会員

おかげさまで、劇団いず夢20周年となりました。多数のイベントを準備していますのでよろしくお願いいたします。是非お越しく下さい



藤田弓子名誉会員

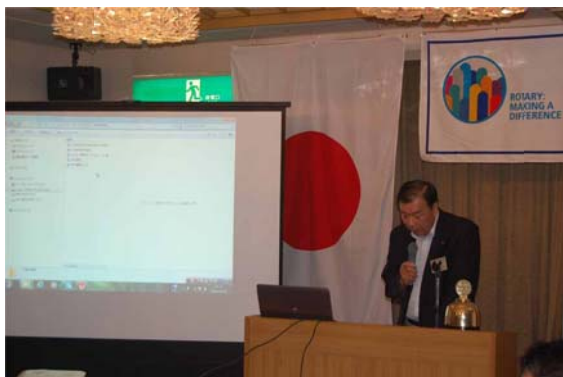
慶事発表

- ・入会記念日:5月22日 小林貞博
- ・奥様誕生日:5月27日 森田修史



卓話

石井政一



出発前に5つの唱和

1. だろろ運転、事故のもと
2. 腕に頼らず、スピード落せ
3. 焦らず、慌てず、腹立てず
4. 追越し、割込み、お先にどうぞ
5. 人の命にかけがえなし

今、トラック運送業界では、安全・安心に荷物を輸送するため、様々な取り組みをしています。

運転者の指導・教育を通じて、事故防止を図る中でその責務を果たし、安全・安心に運送事業が営業できるように日々努力をしています。

また、事業主にとってトラックは、安全性・燃費性能、耐久性、家と一緒ですので快適性とすべてが求められています。

運送会社では、運行管理者又は運行管理代務者が毎日点呼を行っています。

安全運航を確保するために、車と運転手のいずれにも異常がないことが基本的条件です。そのために車両については、運行前に日常点検を実施することが義務付けられており、運転者については点呼を実施することが義務付けられています。

運転業務は、管理者の目の届かないところで行われます。運転手はトラックにいる時間が長く運行管理者と顔を合わせる時間も限られています。その限られた時間を最大限に活用して、運転手に安全確保に必要な確認や指示、アドバイスを行う場が点呼です。したがって点呼が有効に機能しているかどうか、安全運航を確保できるかどうか重要な鍵を握っています。